

昭和廿年六月廿六日開催

第卅二回理事會議事録

社団法人 同盟通信社

昭和貳拾年六月貳拾六日午前拾時參拾分開會
同盟通信社第參拾貳回理事會議事錄

會 場 東京都麹町區日比谷公園二番
社團法人 同盟通信社

理事總員 參拾貳名
出席理事 參拾貳名
(委任狀共)

野中楠吉	橋本富三郎	伊藤正徳	高石眞五郎
山本實一	小汀利壽	生田武夫	阿部揚太郎
矢部謙次郎	武藤義雄	大橋八郎	山田金次郎
	高田元三郎	原田讓二	
	横島光輝		

法社人團 同盟通信社

松本重治	木下猛	古村精一郎	光永眞三	東 幸彦
鷹嘴壽	末光正人	小坂武雄	一力次郎	中 總親
	上田碩三	嵯峨保二	伊豆富人	北野吉内
	島山敏行	古野伊之助		

議長 選舉會長 高石眞五郎
常任監事 築田 飢次郎

會議經過

高石會長議長席ニツキ開會ヲ宣シ日程ニ入ル

第一號議案 役員改選ノ件

高石會長ヨリ定款第二十一條第一項第四號ニヨル理事上田碩三、光永區三剛氏ハ六月二十日任期満了ニ付之レガ改選並ニ常務理事一名決定ノ件ヲ諮リタルトコロ小坂理事ヨリ兩氏共再選、更ニ上田氏ヲ常務理事ニ推薦スルコトヲ發議シタルトコロ滿場一致贊成重任ニ決定シ更ニ定款第二十八條ニヨル常務理事ニ上田碩三氏ヲ推スコトニ異議ナク可決シタリ

次デ定款第二十一條第一項第三號ニヨル理事萩野元太郎氏（日本放送協會）ハ五月廿六日ノ敝機墜機ニヨリ逝去サレ又同條項ニヨル理事下村宏、久富謙夫兩氏ハ六月二十日附辭任、後

社人同盟通信社

任トシテ大橋八郎、生田武夫兩氏ガ夫々就任ノ旨ヲ報告シ更ニ定款第二十四條第二項ニヨル理事會長及同副會長ノ任期満了ニ付コレガ改選ヲ行ヒタキ旨ヲ宣シタル所伊藤理事ヨリ高石會長ノ重任ト交通ソノ他現在ノ情勢ニ鑑ミ比較的距離ニ在任セル一力次郎（河北新報社）及小坂武雄（信濃毎日新聞社）兩氏ヲ同副會長ニ推舉シタキ旨發言アリ議長コレヲ出席理事ニ諮リタルニ滿場異議ナク贊成可決、社員總會ニ於テ右一力、小坂兩理事ノ重任決定ヲミタル上就任ノコトトナレリ

第二號議案 昭和十九年度決算ノ件

古野社長ヨリ昭和十九年四月一日ヨリ同廿年三月三十一日ニ至ル昭和十九年度收支計算及本年三月末日現在ニ於ケル貸借對照表並ニ財産目錄ニツキソノ大要ヲ説明シ採決ノ結果滿場一致可決承認シタリ

第三號議案

議股ノ報告

古野社長ヨリ

一 總務局關係

(1) 同盟別業及技術研究所が五月廿三日ノ空襲ニヨリ焼失、前者ハ重要書類ノ大半ヲ焼出シタルモ後者ハ最モ安全地帯ト豫想サレ居タル爲メ國內電信同報發受信設備ヲ完了シ且ツ再び入手困難ナル無線電信機材ヲ格納シ居タルニ全焼シタルハ戰時ノ常トハイヘ洵ニ残念至極ニシテ目下各方面ニ資材ノ再集積ヲナシツツアリ、尙敵機ノ來襲ハ今後益々加重スルト豫想サレルヲ以テ本社ニ於テハ如何ナル事態發生スル共對内外電信同報ノ中絶スルコトナキ様海外局ノ大部分、總務局、經濟局ノ一部ヲ地方ニ疎開スルノ同時ニ本社ノ社員全員ヲ二カンテ妻妾、他ヲ推

法人同盟通信社

進隊ニ分テ日常ノ報道通信任務ヲ遂行スル一方、萬一ノ場合ニ備フルタメ半地下隱舍ノ建設、非常用事務室ノ施設等ニ着手セリ

(2) 支社ノ新設

本土決戰情勢必至、新聞紙新態勢等ニ即應シ仙台、廣島高松ノ三支局ヲ支社ニ昇格セシメ人員、機材ヲ充實セシメタリ

(3) 國民義勇隊ノ結成

六月一日附本社社員ヲ包含セル國民義勇隊ヲ結成セリ

一 編輯關係

去ル四月一日ヨリ實施サレタル新聞紙非常對策ニ即應シ本社ハ勿論地方ノ各支社局ヲ夫々充實強化シタルガ特ニ國內電信同報ノ確保ニ關シテハ出來得ル限りノ手段方法ヲ講ジツツアル次第ナリ

一、海外局關係

獨逸ノ全面的降伏ニ伴ヒ中立國、ソヴェト聯邦及ロイテル、
A.P.ノ電信同報受信等ニ極限サレタルモD.N.B東京支局ノ解
体スルヤソノ優秀ナルヘルシユライバー受信機ソノ他一切ヲ
引續キ又空襲時ノ停電、電源中絶時ニ於ケル受信不能ヲ避ケル
ベク川崎市ニ受信主体ヲ移シ本社内ノソレト並行シテ海外情
報入手ニ全能力ヲ注入シ居レリ、又發信ノ方モ真空管ノ不足等
ニヨリ對外電信同報ハスペイン語ヲ廢シタル他多少縮限スル
ノ已ムナキ事態ナルモ、ルーズヴェルト急死ノ米國內發表後
直カ十分以内ニ入手シ得タルガ如キ又過般ノ信國議會ニ於ケ
ル首相、外相、駐米ノ發言ハ我々ノ電信同報ヲロイテルガ受
信シ之ヲ全世界ニ再放送シタルガ如キ同照ハ今ヤ我國ノ對外
報道戰線上ニ於ケル中樞機關トシテ機能發揮ニ萬全ヲ期シ居
レリ

社人圖 同盟通信社

尙對外電信同報ノ重要性ニ鑑ミ小山ニ支局ヲ設ケ同所ノ對外
發信電台ト直結セシムルト共ニ本社ト有線、無線聯絡ヲ行ヒ
得ル設備ヲ完了シ實用中ナリ

二、聯絡局關係

本社技術研究所十年苦心ノ結晶タル文字電發機ハ去ル三月完
成、朝日、毎日、讀賣、日本産業、東京ノ五社ニ裝置シ試驗
通信ヲ行ヒ成績良好ナルヲ以テ實用期ニ入ラントセシ折柄空
襲ニヨリ讀賣、東京兩社ノ裝置ハ燒失シ他ノ三社ノ裝置モ亦
停電、軍機ノ變化等因ニ因リ余土信機ノ同調困難ニシテ操作
安定ヲ缺ク場合多キ爲メ一時之ガ實用ヲ見合セ追テ適當ノ時
期ヲ待チ再開スルコトトセリ

三、社費月額調整ノ件

去ル三月廿二日開催ノ第三十一回理事會ニ於テ承認決定ヲ見
タル社費月額調整基準ハ三月末日現在則チ新聞非常對策タル

新聞紙の持分合同實施以前ノ各社ノ發行部數ニ基キ不取敢
實行ニ入レリ、然ル處其後ニ類發セル數機ノ來變其他ノ情
勢急變ハ同盟ノ國內經費ヲ益々膨張セシムル一方ニシテ社
費月額調整基準ヲ再ビ改訂スルノ必要ニ迫ラレタルモ僅々
來ル七月ヨリ新聞紙定價改訂セラルル趣ナルヲ以テ一應現
基準ヲ其舊據置クコトトセリ、而シテ七月以降ノ社費月額
ニ關シテハ發行所單位ノ發行部數ト新定價ノ百分率ヲ基準
トスルコトトス、即チ持分合同後ニ於ケル綜合發行部數ニ
新定價ノ百分ノ三、百分ノ二、百分ノ一ヲ夫々乘ジタル金
額ヲ以テ各發行所ノ社費月額ト定ムルコトトス、尙其ノ支
拂ニ就テハ三ヶ月分宛一括前拂ノ制度ヲ設ケ度シ、更ニ放
送協會ノ社費月額ハ新聞社ノ夫レト負擔ノ均衡ヲ維持スル
様調整スル方針ナルヲ以テ此ノ諒求サレタシ

法人團 同盟通信社

ト述ベタルトコロ以上各項ニ對シ出席理事何レモ諒承決定ヲ
見タリ

昭和貳拾年 月 日

以 上

理 事
理 事
理 事

吉田 謙二
原田 讓二
大橋 八郎

昭和二十年年度收支豫算

社團法人 同盟通信社

一般會計

收入之部

新聞通信收入	六、三九三、〇〇〇圓
經濟通信收入	四、九〇二、九〇〇
海外通信收入	四、〇五四、五〇〇
通信外收入	五一三、六〇〇
寫真部收入	一、一三三、七〇〇
出版部收入	一、三〇一、四〇〇
合計	一八、二九九、一〇〇

支那特別會計

收入之部

通信收入	一二、四五七、二〇〇
雜收	一四四、〇〇〇
不足	一三、八六五、四〇〇
合計	二六、四六六、六〇〇

南方特別會計

收入之部

通信收入	三、二八〇、八〇〇
雜收	六〇、〇〇〇
不足	八、六〇五、二〇〇
合計	一一、九四六、〇〇〇

總計 五六、七一一、七〇〇

支出之部

總體費	二、二七五、八〇〇
本社費	四、〇五一、八〇〇
國內支社局費	四、四三四、六〇〇
海外支局費	六八九、七〇〇
國內電信電話費	一、一九六、四〇〇
海外電信電話費	三、三六四、八〇〇
寫真部費	一、一六、六〇〇
出版部費	一、一六九、四〇〇
合計	一八、二九九、一〇〇

支出之部

總體費	三、二三一、八〇〇
總支社局費	一九、二三三、〇〇〇
電信電話費	四、〇〇〇、八〇〇
合計	二六、四六六、六〇〇

支出之部

總體費	一、六九二、〇〇〇
總支社局費	八、五二〇、〇〇〇
電信電話費	一、七三四、〇〇〇
合計	一一、九四六、〇〇〇

總計 五六、七一一、七〇〇

會議順序（昭和廿年六月廿六日開催）
第三十二回理事會

一、開會挨拶

高石會長

二、第一號議案（役員改選ノ件）

高石會長

三、第二號議案（昭和十九年度決算ノ件）

古野社長

四、第三號議案（諸般ノ報告）

古野社長

會議順序（昭和廿年六月廿六日開催
第三十二回理事會）

一、開會挨拶

高石會長

二、第一號議案（役員改選ノ件）

高石會長

三、第二號議案（昭和十九年度決算ノ件）

古野社長

四、第三號議案（諸般ノ報告）

古野社長

會議順序

(昭和廿年六月廿六日開催
第三十二回理事會)

一、開會挨拶

高石會長

二、第一號議案(役員改選ノ件)

高石會長

三、第二號議案(昭和十九年度決算ノ件)

古野社長

四、第三號議案(諸般ノ報告)

古野社長